

箱根ヶ崎駅西口公有地を活用したにぎわいの創出について



町長 協働の取り組みとまちづくりを連携させ、着実に取り組む

質問 「多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画」では、箱根ヶ崎駅西口公有地活用プロジェクト（OHAKOプロジェクト）を踏まえ、No.7駅周辺の将来的な土地利用を検討するとしている。このプロジェクトは、町民主体の取り組みとして注目されており、にぎわい創出や創業支援の面で一定の成果を上げているが、今後の持続的な運営には改善も必要であると考えられる。今後の展望や課題への対応について所見を伺う。

町長 今年度、瑞穂町商工会に委託して課題抽出を実施して



駅西公有地にあるOHAKOYA（おはこや）

質問 国連の障害者権利委員会から日本政府に「インクルーシブ教育の権利を保障すべき」と勧告が出された。子どもの学が権利をどのように保障するかさまで

まな考え方がありと考えるが、インクルーシブ教育について次の2点を伺う。

こんな質問もありました
中学生のピロリ菌検査実施を

町長 国の指針において推奨項目に追加された際、議論を進める。

町長 外国人との共生は大切。相互の理解が大切。

川島 靖弘 議員（立憲民主党）

インクルーシブ教育について



教育長 個人への合理的配慮の提供などが必要

問② 重度障がい児が通常学級への進学を希望した場合の対応は。

教育長 就学支援委員会、その児童・生徒に適すると思われる学校を示す。その後、本人・家庭・学校の意思を確認し、できる支援や



井上 一也 議員（もつと瑞穂に笑顔）

災害時における防火水槽の水の生活用水利用について



町長 火災発生時のために確保しておくもの



質問 わが町には大きな河川がなく、上水道が断水するよう

内に198基の防火水槽を整備している。大規模災害時には火災が発生することが多いため、消火活動用水の確保が重要であり、消防署からも防火用に確保すべきとの話がある。私たちの生活にとって水は不可欠であり、生活用水の確保も重要だが、防火水槽の水は火災発生時のために確保しておくものと認識しており、改

こんな質問もありました
空間放射線量率の測定継続は今後も必要か

町長 測定回数の変更有り得るが、町民が安心できる数値であるかを確認できるように、調査は継続する。

高橋 洋子 議員（自民誠和会）

「ふれっしゅはうす」の活用とさらなるにぎわいを



町長 加工場の関係者以外の利用は衛生面的に難しい

町長 「ふれっしゅはうす」は町が運営しているものではなく、瑞穂町農畜産物直売所運営委員会が運営している。地場

今後も産業経済課を中心に、運営委員会、JAにしたまとの協力し合い、農業の振興に取り組む。



農畜産物直売所 ふれっしゅはうす

町長 防火水槽は、断水時でも使える重要な消防水利で、町



公園に設置された防火水槽（むさし野地区）